

MC-130 特殊作戦機からの部品落下事故及び 嘉手納基地から発生する騒音被害の増大に抗議する意見書

令和元年10月18日午前5時頃、嘉手納基地に着陸したMC-130 特殊作戦機から長さ約134センチ、直径約3センチ、重さ約500グラムの部品が欠損していることが飛行後の点検で発覚したにもかかわらず、町に対し沖縄防衛局より「落下した部品は当日18日に伊江島補助飛行場内で発見されていた」という詳報があったのは1週間後の10月25日であった。本件に関し詳細の公表が遅れたため、メディアから「部品は嘉手納基地へ落下した」と報道されるなど情報が錯綜した。日米両政府においては在日米軍に係る事件・事故発生時における通報手続きに基づき、速やかな情報提供を求めるものである。

県内における米軍機からの部品落下事故は復帰後から近年に至るまで枚挙にいとまがなく、万が一住民居住地に落下すれば住民を巻き込む大惨事につながりかねず、この点からも町民に与えた不安は計り知れない。さらに米軍は事故原因及び再発防止策を明らかにしないまま同型機の飛行訓練を再開させており、身勝手な基地運用に対して強い憤りを禁じ得ない。

また、今月に入り岩国基地からF-35B戦闘機及びFA-18戦闘攻撃機等の外来機が相次いで飛来し過密状態のまま訓練が行われた。それと同時期に基地内では即応訓練も実施され、昼夜を問わず飛行訓練による騒音、サイレン音や拡声器放送が基地周辺地域に鳴り響くなど、嘉手納基地から発生する騒音被害は町民の受忍限度をはるかに超えている。ついては、日米両政府は平成18年の米軍再編ロードマップで合意された嘉手納基地の負担軽減を真に実現すべく、有効な対策を早急に講じることを強く求める。

よって、嘉手納町議会は町民の生命、財産、安全及び平穏な生活を守る立場から、米軍及び関係当局に対し厳重に抗議するとともに下記事項を速やかに実現するよう強く要求する。

記

- 1 すべての航空機の整備点検、安全管理を徹底すること。
- 2 事故原因を徹底究明し、その結果を速やかに公表すること。
- 3 すべての航空機の住民居住地上空での飛行訓練を禁止すること。
- 4 すべての外来機の嘉手納基地への飛来を中止すること。
- 5 騒音防止協定を遵守し、航空機騒音の軽減をはかること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和元年10月28日
沖縄県嘉手納町議会

(あて先)

内閣総理大臣 外務大臣 防衛大臣 内閣官房長官 (沖縄基地負担軽減担当)
沖縄及び北方対策担当大臣 外務省特命全権大使 (沖縄担当) 沖縄防衛局長
沖縄県知事

MC-130 特殊作戦機からの部品落下事故及び 嘉手納基地から発生する騒音被害の増大に抗議する決議

令和元年10月18日午前5時頃、嘉手納基地に着陸したMC-130 特殊作戦機から長さ約134センチ、直径約3センチ、重さ約500グラムの部品が欠損していることが飛行後の点検で発覚したにもかかわらず、町に対し沖縄防衛局より「落下した部品は当日18日に伊江島補助飛行場内で発見されていた」という詳細があったのは1週間後の10月25日であった。本件に関し詳細の公表が遅れたため、メディアから「部品は嘉手納基地へ落下した」と報道されるなど情報が錯綜した。日米両政府においては在日米軍に係る事件・事故発生時における通報手続きに基づき、速やかな情報提供を求めるものである。

県内における米軍機からの部品落下事故は復帰後から近年に至るまで枚挙にいとまがなく、万が一住民居住地に落下すれば住民を巻き込む大惨事につながりかねず、この点からも町民に与えた不安は計り知れない。さらに米軍は事故原因及び再発防止策を明らかにしないまま同型機の飛行訓練を再開させており、身勝手な基地運用に対して強い憤りを禁じ得ない。

また、今月に入り岩国基地からF-35B戦闘機及びFA-18戦闘攻撃機等の外来機が相次いで飛来し過密状態のまま訓練が行われた。それと同時期に基地内では即応訓練も実施され、昼夜を問わず飛行訓練による騒音、サイレン音や拡声器放送が基地周辺地域に鳴り響くなど、嘉手納基地から発生する騒音被害は町民の受忍限度をはるかに超えている。ついては、日米両政府は平成18年の米軍再編ロードマップで合意された嘉手納基地の負担軽減を真に実現すべく、有効な対策を早急に講じることを強く求める。

よって、嘉手納町議会は町民の生命、財産、安全及び平穏な生活を守る立場から、米軍及び関係当局に対し厳重に抗議するとともに下記事項を速やかに実現するよう強く要求する。

記

- 1 すべての航空機の整備点検、安全管理を徹底すること。
- 2 事故原因を徹底究明し、その結果を速やかに公表すること。
- 3 すべての航空機の住民居住地上空での飛行訓練を禁止すること。
- 4 すべての外来機の嘉手納基地への飛来を中止すること。
- 5 騒音防止協定を遵守し、航空機騒音の軽減をはかること。

以上、決議する。

令和元年10月28日
沖縄県嘉手納町議会

(あて先)

駐日米国大使 在日米軍司令官 在沖米四軍沖縄地域調整官
在沖米国総領事 嘉手納基地第18航空団司令官 第353特殊作戦群司令官
沖縄県議会議長